



青年部 部長

加藤 秀之

新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ち
でお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年
中は我々青年部活動に際しまして、御理解と御協
力、更には格別な御支援を賜り、厚く御礼申し上げ
ます。

昨年につきましては、一昨年に引き続き新型コロナ
ウィルスの流行により、日本のみならず世界
規模で多くの尊い命が失われた悲しい一年となっ
てしまいました。現時点で日本での感染は抑えら
れていますが、諸外国では新たな変異ウィルスが
猛威を振るい、予断を許さない状況が続いており
ますので、我々も一層気を引き締め、一日でも早い
終息を願うばかりです。また、10月には「国民のた
めに働く内閣」を掲げていた内閣総理大臣が在任
期間384日で退任し、新たに岸田内閣が発足する
など、政治的にも変化が大きい年となりました。

農業分野に焦点を当てますと、ここでも新型コ
ロナウィルスの影響は大きく、外食産業の不振に
より米の需要減が加速し、米価が大幅に下落した

ことで、米農家の生産基盤は大きく揺らいでいま
す。また、昨年は一年を通して外国人の新規入国が
認められなかったことにより、在留資格の事前認
定を受けながら、来日できない外国人は37万人お
り、当産地でも入国予定の技能実習生約40名が入
国することが出来ませんでした。労働力不足の問題
は今後の日本農業において深刻な問題であり、
国の政策に左右されがちですが、産地として真の
自立が求められている時期にきているとも考えら
れます。その課題解決の一端を担うと期待されて
いるのはスマート農業の導入です。農業技術は経
験則であり、これまでそのノウハウはほとんど言
語化されておらず、技術継承を難しくしている要
因となっております。今後、我々若い世代の農業者
がAI、IoTといった先進技術を農業と結びつけるこ
とで、農作業の省力化・軽労化が進み、農業の可能
性は拡がっていくと考えられます。

本市の農業を少し振り返りますと、例年より降
雪も少なく、畑の準備は順調に進められましたが、
3月の大雪によるハウス倒壊被害、定植後の4月下
旬からの長い天候不良、7月中旬からの異常高温
と私も経験したことのない厳しい環境での生産と

なり、また、上記でも触れたように労働力不足が拍
車を掛け、近年で最も少ない3,400t程の生産量と
なりました。品質的にも高品質とはいかず、消費者
の皆様には安定的な供給をすることは叶いませんで
した。

しかし、全国の夕張メロンを受する多くのお客
様のおかげで、生産額的には大きな影響を受ける
ことがなく、産地として、ご協力いただいた関係会
社、農協、行政に多大なる感謝の念を抱いておりま
す。

我々青年部につきましても、新型コロナウィル
スの影響を受け、積極的な活動を行うことは叶い
ませんでした。徐々に感染拡大が抑えられてい
く中で、2年ぶりに研修旅行を行い、部員間で苦し
かったシーズンを振り返り、産地の課題・自分た
ちがまだまだ足りない部分を討論することができ
ました。その中で若い部員達からも夕張農業に対
しての強い責任感を感じ、同じ意識を共有してい
ることを実感したことで、前に進んでいく自信と
なりました。

我々はアメリカで活躍する大谷選手のように二
刀流とはいきませんが、夕張メロンという一つの
刀を大事に研ぎ続けることで、産地の発展に貢献
していきたくと考えています。

本年も皆様方には昨年同様の御指導と御鞭撻を
お願い致しますとともに、青年部の更なる健闘と、
夕張市農協に関わる全ての皆様の御健勝を御祈念
申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

今号の TOPICS

青年部活動

6月8日 圃場見学

副部長の後藤さんの畑で実際に栽培しているハウスを案内し、メロンの生育状況や作業の説明、子供達からの質問に答えました。天候にも恵まれ久々の屋外授業という事もあり、子供たちの楽しそうな声が響いていました。

7月7日 集荷場作業に關しての座学

例年であれば子供たちを集荷場に招待して作業風景を見ていただくのですが、感染症対策のため三役と事務局で小学校を訪問し、スライドを使って集荷から出荷までの流れを説明する授業を行いました。

3月2日 食育まとめ発表

食育事業の締めくくりとして11月の学習発表会で子供たちがまとめた発表を見学させていただく予定でしたが、感染症対策のため延期となり3月の授業参観で行う予定です。



女性部勉強会

12月1日、勉強会を実施しました。

当日は強風で雨も降る悪天候でしたが23名が参加し、布マスクケースを作成しました。部員も縫製などの細かい作業に悪戦苦闘しましたが、40数枚作ることができました。

同日、昨年に引き続き夕張市社会福祉協議会に部長、副部長が出向き、作成したマスクケースを寄贈させて頂きました。また、部員が持ち寄ったタオル等を毎年寄付しておりますが、今年も12月1日に集まったタオル等を清光園に寄贈させて頂きました。

へ作品を展示での参加をしましたが日帰り研修や観楓会、フレミズとの合同講習会は残念ながら行うことができませんでした。12月の勉強会では地域社会貢献活動として布マスクケース作りを行い例年行っているタオル類の寄付と共に寄贈させて頂きました。手渡し時には大変喜んで受け取って下さり女性部への労いと感謝の言葉を頂きました。限られた活動でしたが皆様のご協力に感謝致します。

本年も皆様のご支援とご協力をお願い致しますと共に、コロナウィルス感染症の終息と皆様ご家族が笑顔で喜びの多い一年となりますよう祈願し新年のご挨拶とさせて頂きます。



女性部 部長

木川田 美由紀



新年あけましておめでとうございます。
2022年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染が終息しないまま新しい年を迎えることになりました。ワクチン接種も進むなか未だに不安や緊張の日々が続いております。

昨年を振り返りますと、3月の大雪による被害や外国実習生が入国できず、やむを得ず計画の変更をされた方もいると思います。春の天候不順夏の異常な高温に生産者も労働者も大変苦労された年となりました。

女性部活動におきましては、2月の作品展、6月の金融課前の花壇作り、10月には夕張市民文化祭

農事組合理長

滝ノ上 高橋 肇

紅沼 板谷 忠弘

沼ノ沢北 波佐尾芳和

清沼 高城 稜

富野 吉田 剛

夕張土地改良区

理事長 佐々木真吾

理事長代理 加藤 春之

総括監事 白田 弘二

外役員一同

白友会

会長 伊藤 信勝

副会長 新山 純一

外役員一同

青年部

部長 加藤 秀之

副部長 後藤 春尚

副部長 舟津 竜太

外役員一同

JA 夕張市

部課長 会一同

職員組合一同

夕張メロン組合

組合長 武岡 宏樹

副組合長 前田 尚輝

生産部長 菅野 哲也

外役員一同

夕張市長芋組合

組合長 高橋 肇

副組合長 森 秀幸

外役員一同

夕張農業青色申告会

会長 神能 博明

副会長 清野 治彦

外執行委員監事一同

女性部

部長 木川田美由紀

副部長 神能 美奈

副部長 三宅 朝子

外役員一同

フレッシュミズ

会長 川岸 卓子

副会長 吉田 留美

外役員一同

迎春

フレッシュミズ視察研修

10月20日にフレッシュミズ視察研修でノーザンホースパークに行ってきました。当日は悪天候だった為、色々なアクティビティがありましたが出来るものが限られてしまいレーザー・シューティングやバルーンアーチェリーを楽しみました。その後観光馬車に乗ったり、室内の中でハッピーポニーショーを見たりと寒い中でも楽しむことができました。

11月17日には冬期講習会をおこない、がまぐち財布を作成しました。役員が先に試作して当日は指導に当たりました。

